

### 3.Kayunga Junior学校の教育を高める清浄な水へのアクセス確保(ウガンダ)

- 実施団体: Rural Initiative for Development and Empowerment (RIDE-UGANDA) (#184)
- 実施地: ウガンダ カユンガ県 カユンガ副郡 キサウオ村
- プロジェクト費用: 1,818ドル(JWFファンド1,500ドル、団体218ドル、受益者100ドル、予算比100%)  
予算: 1,816ドル(JWFファンド1,500ドル、団体200ドル、受益者116ドル)
- 受益者数: 650人(男性100人、女性150人、子ども400人)
- 実施地の水問題:

ウガンダのカユンガ県では、ほとんどの農村部にある学校で水問題を経験してきた。キサウオ村とその周辺地域の貧困層の小学生と幼稚園児300人が在学するカユンガ・ジュニア学校もその例外ではない。清潔な水を利用できないため水系感染症による欠席が多く、衛生状態は悪く、退学率も高く、学業成績の著しい低下もみられた。子どもたちは学校でも家でも水汲みの手伝いをする1日最低5時間もかかるので、授業の欠席が増え初等教育の修了が難しくなっていた。

#### 【実施前】



沼から水を汲むキサウオ地域の子どもたち



個人宅の受水槽から水を汲むカユンガ・ジュニア学校の生徒たち

- 主な活動内容: 現場説明住民衛生集会(3回、600人参加)、手押しポンプ付浅井戸1カ所設置、専用水中ポンプ付16水栓手洗い場設置、維持管理研修、水利用委員会の結成等。
- 特長(持続性): 共同体の核である学校付近に井戸を設置して、生徒と村民あわせて650人を直接受益者とする。衛生習慣改善により、村民1,200人を間接受益者とする。プロジェクト実施によって、子どもたちの健康・就学率増加と、女性が社会や経済分野で活動する時間をつくる。村民から3名を選抜して、維持管理教育を受講する。
- 実施団体: カユンガ地区農村部の若者と女性のグループによって、2014年に創立して、2016年に正式登録された。浅井戸建設に経験豊富で農村地域において44以上のプロジェクトを成功させた。JWFファンド2021支援あり。

### 3.Kayunga Junior学校の教育を高める清浄な水へのアクセス確保(ウガンダ)

#### 【実施中】



浅井戸手掘り掘削工



浅井戸レンガ擁壁工



手押しポンプ設置工



Ms. Naluyima Winniefred  
(38歳)

このプロジェクトで、私たちが直面していた水と衛生の問題は解決しました。日本の皆様、JWF、RIDE-UGANDAの皆様特に感謝を申し上げます。水系感染症のために半分以上の生徒が欠席する日々はもう昔話になりました。何度でも感謝いたします。



手洗い場工



手洗い場完成



水利用委員会



Mr. Kizza Ronald  
(13歳)

生徒を代表して、日本の皆様に水供給システムに感謝したいです。飲料水、料理、水浴び、洗濯、学校の清掃に使えるお水が手に入るようになりました。同じく手洗い設備を提供されたRIDE-UGANDAにも感謝いたします。

#### 【実施後】



手押しポンプ前の行列



手押しポンプ操作



専用水中ポンプが稼働した手洗い場



Ms. Nakaggwa Ruth  
(36歳)

共同体外からこの地域の学校への支援と投資に非常に感謝しています。このプロジェクトによりカunga・ジュニア・スクールの教育水準は向上いたします。ありがとうございます。ありがとうございます！